

# こまったら今できることからやろう



朝日小学生新聞社 2011  
〒104-8433 東京都中央区築地3-5-4  
電話(03)3545-5223 (広報)  
3545-5227 (販売)  
3545-5225 (広告)  
記事についてのお問い合わせ  
電話(03)3545-5222 (編集)  
ご購読の申し込み  
お近くのASA(朝日新聞販売所)  
ウェブサイト  
www.asagak.com  
電話 0120-415843  
FAX 0120-415853  
(いずれも通話無料)  
1か月1720円、1部70円(各税込み)

## 村木厚子さん

内閣府政策統括官

### 突然の逮捕から無罪判決まで1年3か月

やっていないことをやっただとして罪をせられそうになった人がいます。内閣府政策統括官(共生社会政策担当)の村木厚子さんです。二〇〇九年十月、厚生労働省の局長だった村木さんは突然逮捕されました。しかし、裁判で自分の考えをしっかりと主張し、一〇年九月に無罪を勝ち取りました。取り調べはつらく、身に覚えのない罪をかぶってしまった人もいます。村木さんはどのようにして逆境に打ち勝ったのでしょうか。

### みんなの励ましが助けに

Q 高原さんと中村くん  
A 村木さんの答え  
質問 逮捕されたとき、こんな  
の気持ちで「こまの気持ち」  
を教わったんです。どう  
感じましたか。一方、これ  
からの取り調べでどんなこ  
とが起るのか、よくみて  
おこうという冷静な気持ち  
もありました。



村木厚子さん(中央)と朝小リポーターの高原駿介くん(左)、中村運くん(右)らも東京・霞が関で、渡辺真理子

### 朝小リポーターがインタビュー

## 真実はまげたくない 娘の手本になるためにも

取り調べで家にいない間、一番気がかりだったのは、二十代半ばと十代後半の娘のことでした。いまは無罪が確定して本当になれると思います。一生懸命仕事をしていきます。一年三か月の間、どんなことが支えになりましたか。A 人です。みんなの励ましが助けになりました。拘留所で五か月過ごしました。面会時間に家族、職場の人、友だちが一日も欠かさず会いに来てくれたり、「信じているから」といったメッセージを署名や手紙で五百人からもらったりしたことは、折れそうになる気持ちを強くしてくれました。



村木さんは体験したことをわかりやすい言葉で話してくれました

## 一日一日を大事に 個性的な子を排除しないで

Q 小学生時代はどんな子どもでしたか。  
A 人見知りや泣き虫な子でした。友だちに遊びに入れてもらえないといわれると「えん」という具合です。本が好きでよく読んでいました。拘留所でも子どもどころから「読書好き」が助けになりました。拘留所での百六十三冊、中、百五十冊読みました。成長するにつれて人見知りや泣き虫はまじまじなくなりました。国家公務員になったのはそれかのために役に立つ仕事をしたいと思ったから。当時、一般の会社はほとんど女性を採用していなくて、仕事に就くなら先生か公務員か、という

### 朝小リポーターの感想

高原駿介くん とてもやさしい雰囲気の人でした。「好きなことを見つけて」という話が心に響きました。中村運くん うなずきながら話を聞いてくれる村木さんの姿が印象的でした。村木さんの「こまの気持ち」は、きょうのこまの気持ちとつながるような言葉を見習おうと思いました。



泉先生、「ジャンケンポン」とっても面白いです。2回目まで読んでください。(埼玉県・下大瀬南木・5年)

### 新連載「千春先生の平和授業」スタート

朝小はきょうから、新連載「千春先生の平和授業」を始めます(3面に掲載)。立教大学法学部教

授の竹中千春さんが「先生」となって、紙面を通して「授業」をしていきます。世界では、いま、何か起こっているのか。起こっている問題を解決するために、何が出来るのか。

みんなで意見を出し合い、考えるコーナーです。1回目は、朝小読者を立教大学に招いて特別授業をしました。2回目以降は、毎月15日から毎週土曜日に掲載する予定です。

きょうの紙面 2面 公立中高一貫校ゼミ / 5面 まんがニュース「ろさがき出てくる言葉」 / 6面 おしゃべりイングリッシュ / 8面 生き物たちの地球